

55 簿記・会計研修 A (入門)

【合同研修】

～イメージ重視でゼロから簿記を学ぶ～

目的	これからの自治体においては、貸借対照表等による財政状況の的確な把握や、健全な財政状況を維持するための取組が求められている。この研修では、初めて複式簿記や財務会計に携わる者、複式簿記や財務会計の基礎を学びたい者を対象とし、複式簿記の基礎知識向上を図る。			
内容	(1) 専門講師が「初めて複式簿記や財務会計を学ぶ者」「勉強したことはあるが苦手な者」を対象に1日で簿記の流れを解説 (2) 演習問題を通じて組織の財務構造がどうなっているのかをわかりやすく解説			
実施年月日	第1組：令和6年 6月27日(木) 第2組：令和6年 7月11日(木) 第3組：令和6年 9月12日(木)	定員	第1組 60名(市町村職員30名 県職員30名) 第2組 42名(市町村職員21名 県職員21名) 第3組 42名(市町村職員21名 県職員21名)	
対象者	(市町村) 受講を希望する職員 (県) 受講を希望する職員			
実施場所	大分県自治人材育成センター			
推薦期限	令和6年 5月31日(金)	《第6回》	経費内訳	内訳表1
指定ホテル	—		その他留意事項	—
研修講師 (プロフィール)	<p>【日本ビジネスドック 株式会社 CBC経営診断士 関口 康尚(せきぐち やすなお)氏】</p> <p>日本ビジネスドック株式会社 主任コンサルタント 一般社団法人全国経営診断士協会 常務理事</p> <p>博士(商学)、CFM財務管理診断士、温泉初段、宅地建物取引士、相続診断士、行動心理士、JBCA,CBMI ビジネスマナーインストラクター、ユニバーサルマナーコーディネーター</p> <p>《紹介》 ◎大学院卒業後、自らの研究分野を現場で活かしたいと日本ビジネスドックに入社。 入社後は、世間では苦手意識の強いテーマを分かり易く伝える指導方法を研究する。 ◎学んだことを現場で活かしている姿をイメージさせ、学習意欲をかき立て、楽しく学ばせる。 ◎NBDコンサルタントグループの熱血講師として、難しい内容を親切、丁寧にわかりやすく、そして“熱いハート!”で指導する。全員参画、全員理解がモットー。 ◎研修テーマは、簿記財務・公会計・政策法務・商業研修などを担当。講義に片寄ることなく現場で使えるロールプレイングを採用入れた実践指導に定評があり、中でも簿記財務研修は幅広い受講者から好評を頂く。</p> <p>《著書・執筆》 ◎イントロダクション財務講座 ◎企業会計システムと財務諸表</p> <p>《最近人気の研修テーマ》 ◎簿記会計研修 ◎公会計研修 ◎地方自治研修 ◎アグリビジネス研修 ◎農業簿記研修 ◎公営企業会計研修 ◎政策法務研修 ◎政策形成研修 ◎商業基礎研修 ◎法律入門研修 ◎新規採用職員研修 ◎新規採用職員フォロー研修 等</p>			
受講者の声	<ul style="list-style-type: none"> ・簿記に対して苦手意識があったが、今回の研修に参加して少し改善されたと思う。 ・今回、初めて簿記を学びました。職場でも今週末に決算報告があるため決算書の見方が少しわかり大変良かったです。 ・貸借対照表や損益計算書は、日頃から目にはしているが、実際の仕分けの業務をした事がほとんど無かったため、今日の研修では簿記の仕組みを理解できました。 ・簿記に対して難しい・細かい作業のイメージを持っていたが、講義を受けてイメージが変わった。講師の講義に対する工夫が見え、受講してる側も楽しく講義を受けることができた。 ・説明だけの講義にとどまらず、グループワークを多めに取り入れ、研修生に考えて解決するよう促す内容だった。非常に有意義な研修だった。 			
備考	※電卓をお持ちください。			

時間割

		9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00
		8:50	20 30						15	
1 日 目	受 付	オリエンテーション	1. 簿記とはなにか 2. 簿記上の取引の認識 3. 取引から仕訳までの流れ	昼 食		4. 仕訳から元帳までの流れ 5. 元帳から決算書までの流れ 6. 決算書から組織をイメージする			閉 講	

※上記内容は、研修実施時に変更されることがありますので、予めご了承ください。